

第3回 秋田県港湾脱炭素化推進協議会及び各港部会 協議会資料



いい風吹いてる？

秋田県 建設部
港湾空港課



秋田県PRキャラクター「んだッチ」

協議会のスケジュール



CNP協議会
(R4.10.19)

協議会設置要綱

秋田県のCNPに関連した各部局講演

第1回協議会
(R5.5.23)

港湾脱炭素化推進計画への移行

1 港湾の概要

2 港湾脱炭素化推進計画の目標【温室効果ガス排出量の推計】

第2回協議会
(R5.11.6)

2 港湾脱炭素化推進計画の目標

【重要達成度指標(KPI)の設定】 【温室効果ガス吸収量の推計】

【温室効果ガス排出量の更新】

【水素・アンモニアの需要推計及び供給目標】

(参考資料) 水素・アンモニア等の供給等のために必要な施設の規模・配置

第3回協議会
(R6.3.11)

3 港湾脱炭素化促進事業及びその実施主体

4 計画の達成状況の評価に関する事項

5 計画期間

6 港湾脱炭素化の実施に関し港湾管理者が必要と認める事項

港湾脱炭素化推進計画(素案)

1.計画対象となるCO2排出量の報告

- ・CO2排出量の整理区分の変更に伴うCO2排出量の更新
- ・CO2吸収量の考え方及び推計結果
- ・計画対象となるCO2実質排出量(排出量－吸収量)

2.重要達成度指数(KPI)の設定

- ・KPI1 CO2排出量の削減
- ・KPI2 低・脱炭素型荷役機械の導入率
- ・KPI3 ブルーインフラの保全・再生・創出
- ・KPI4 港湾における水素等の取扱貨物量

3.水素・アンモニアの将来需要ポテンシャルの試算

- ・化石燃料等が全て水素・アンモニア等に転換された場合の需要ポテンシャルの試算
- ・算出したポテンシャル及び水素・アンモニアの特性に基づく必要施設規模の算出
- ・秋田県重要港湾3港湾への施設配置(案)の検討

1. 前回協議会からの更新について

- ・KPI1 温室効果ガス排出量の推計
- ・KPI4 港湾における水素等の取扱貨物量
- ・(関連計画) 洋上風力発電の導入見通し

2. 港湾脱炭素化促進事業及び将来構想

- ・港湾脱炭素化促進事業及びその実施主体
- ・港湾脱炭素化促進事業及び港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想
- ・港湾脱炭素化促進事業によるCO2排出量削減効果

3. 計画の達成状況の評価に関する事項

- ・計画の達成状況の評価等の実施体制
- ・計画の見直し

4. 計画期間

- ・計画期間

5. 港湾脱炭素化の実施に関し港湾管理者が必要と認める事項

- ・港湾脱炭素化の実施に関し港湾管理者が必要と認める事項
- ・ロードマップ

6. 港湾脱炭素化推進計画(素案)

- ・秋田県港湾脱炭素化推進計画(素案)について(今後のスケジュール)

1. 前回協議会からの更新について

〈 前回協議会からの更新について 〉

KPI設定項目について、以下3点の更新を行った。

- KPI1 短期目標値の更新（2013年CO2排出量の更新による）
- KPI4 需要の具体化と合わせて目標を設定
- 県内の関連目標として、洋上風力発電の導入見通しを併記

重要達成度指標（KPI）と具体的な数値目標

| KPI (重要達成度指数) | | 具体的な数値目標 | | |
|------------------|-------------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 短期(2030年) | 中期(2040年) | 長期(2050年) |
| KPI (重要達成度指数) | KPI1 CO2排出量 | 128.7万トン/年 (2013年比46%減) (前回:128.8万トン/年) | 64.4万トン/年 (2013年比73%減) | 実質0トン/年 (2013年比100%減) |
| | KPI2 低・脱炭素型荷役機械導入率 | 62% (2021年時点 5%) | 100% | 100% |
| | KPI3 ブルーインフラ等の保全・再生・創出 | 港湾緑地の整備 30ha | 港湾緑地の整備 30ha 藻場等の創出 24ha | 港湾緑地の整備 30ha 藻場等の創出 49ha |
| | KPI4 港湾における水素等の取扱貨物量 | 需要の具体化と合わせて目標を設定 (前回:検討中) | | |
| 県内の関連する計画・目標 | 洋上風力発電の導入見通し (秋田県内) (前回なし) | ~200.64万kW/年 (CO2換算 約257万トン/年) | 新たな導入可能性の検討 | |

1. 前回協議会からの更新について

〈 KPI1 温室効果ガス排出量の推計〉

各事業者へのヒアリング調査を進める中で、数値の追加・精査が生じたため、以下のとおりCO2排出量の更新を行った。

短期（2030年）目標について、2013年排出量238.36万トンから46%削減するものとして、CO2排出量 目標値128.7万トン/年を設定する。

秋田県重要港湾3港CO2排出量（単位：万トン）

| 区分 | 港湾 | 2013年 | | | 2021年 | | |
|-------------|-----|-----------------|----------------|-------|-----------------|----------------|-------|
| | | CO2排出量 (更新前) | CO2排出量 (更新) | 増減 | CO2排出量 (更新前) | CO2排出量 (更新) | 増減 |
| ターミナル 内 | 秋田港 | 0.16 | 0.16 | ±0.00 | 0.16 | 0.17 | 0.01 |
| | 船川港 | 0.01 | 0.04 | 0.03 | 0.01 | 0.02 | 0.01 |
| | 能代港 | 0.01 | 0.01 | ±0.00 | 0.00 | 0.00 | ±0.00 |
| | 計 | 0.17 | 0.20 | 0.03 | 0.17 | 0.20 | 0.02 |
| ターミナル 出入 | 秋田港 | 0.66 | 0.66 | ±0.00 | 0.66 | 0.66 | ±0.00 |
| | 船川港 | 0.09 | 0.09 | ±0.00 | 0.09 | 0.09 | ±0.00 |
| | 能代港 | 0.34 | 0.34 | ±0.00 | 0.34 | 0.34 | ±0.00 |
| | 計 | 1.09 | 1.09 | ±0.00 | 1.09 | 1.09 | ±0.00 |
| ターミナル 外 | 秋田港 | 139.08 | 138.64 | -0.44 | 118.20 | 123.21 | 5.01 |
| | 船川港 | 1.54 | 1.70 | 0.16 | 1.40 | 1.50 | 0.10 |
| | 能代港 | 96.81 | 96.73 | -0.08 | 80.07 | 81.77 | 1.70 |
| | 計 | 237.43 | 237.07 | -0.36 | 199.66 | 206.48 | 6.82 |
| 合計 | | 238.69 | 238.36 | -0.33 | 200.92 | 207.76 | 6.84 |

※端数処理のため、内数の和と計が必ずしも一致しない。

3.計画の達成状況の評価に関する事項



＜ 計画の達成状況の評価等の実施体制 ＞

【実施体制について】

- ・ 計画期間中は、秋田県港湾脱炭素化推進協議会を適宜開催する。
- ・ 協議会において、計画の推進及び進捗状況を確認・評価するものとする。

【評価の手法について】

- ・ 重要達成度指標（KPI）の数値目標と実績値の比較により計画の達成状況の評価する
- ・ 達成状況の把握のため、港湾脱炭素化促進事業等の進捗状況など、脱炭素化の効果を定量的に把握するためにアンケート調査を実施する予定。

重要達成度指標（KPI）と具体的な数値目標

| KPI (重要達成度指数) | | 具体的な数値目標 | | |
|------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 短期(2030年) | 中期(2040年) | 長期(2050年) |
| KPI (重要達成度指数) | KPI1 CO2排出量 | 128.7万トン/年 (2013年比46%減) | 64.4万トン/年 (2013年比73%減) | 実質0トン/年 (2013年比100%減) |
| | KPI2 低・脱炭素型荷役機械導入率 | 62% (2021年時点 5%) | 100% | 100% |
| | KPI3 ブルーインフラ等の保全・再生・創出 | 港湾緑地の整備 30ha | 港湾緑地の整備 30ha 藻場等の創出 24ha | 港湾緑地の整備 30ha 藻場等の創出 49ha |
| | KPI4 港湾における水素等の取扱貨物量 | 需要の具体化と合わせて目標を設定 | | |

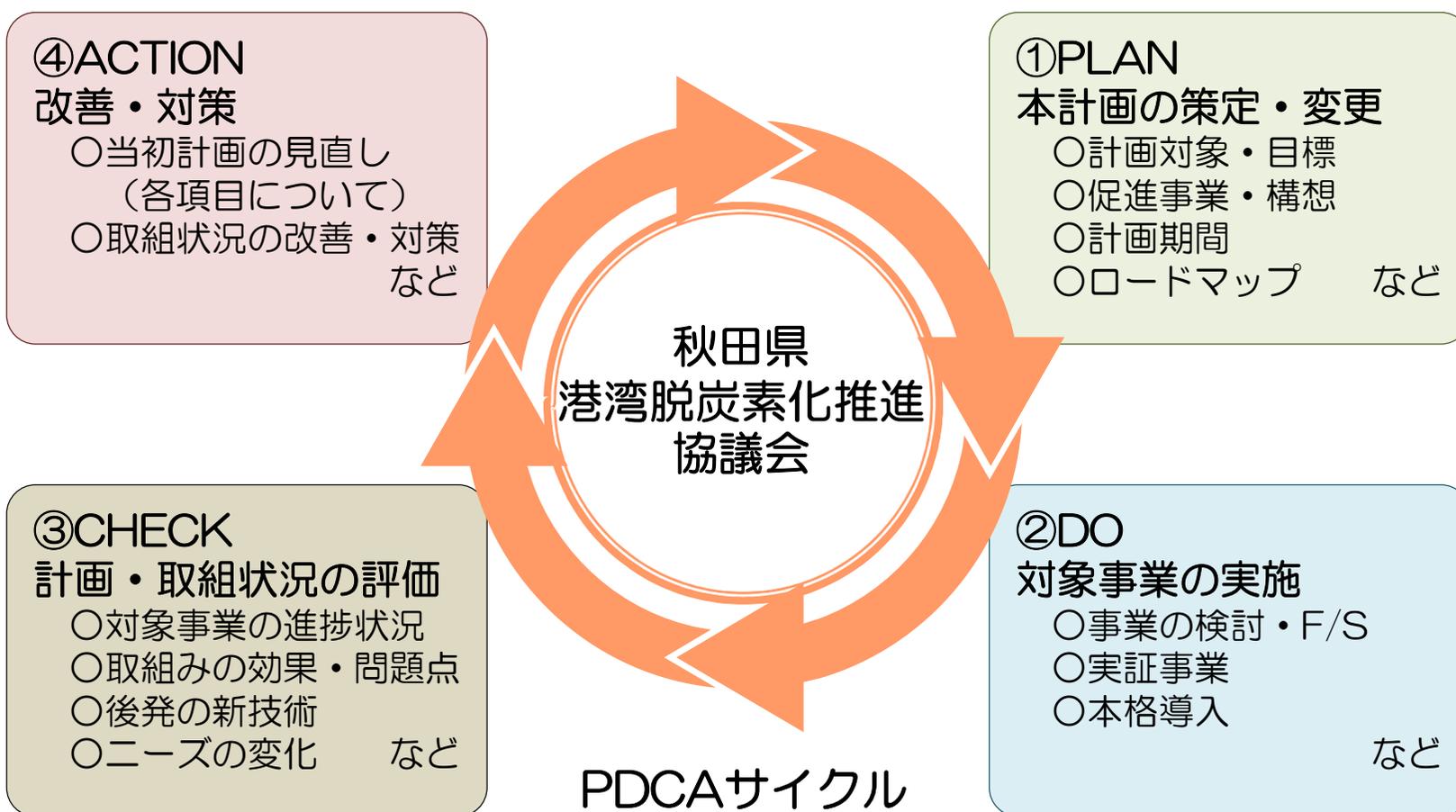
3.計画の達成状況の評価に関する事項



〈 計画の見直し 〉

【計画の見直しについて】

- 本計画は、評価結果、国や市の温室効果ガス削減目標、脱炭素化に資する技術の進展等を踏まえ、適時適切に見直しを行うものとする。
- 計画期間や見直し時期は、各港の港湾計画やその他関連計画の見直し等にも留意した上で対応する。

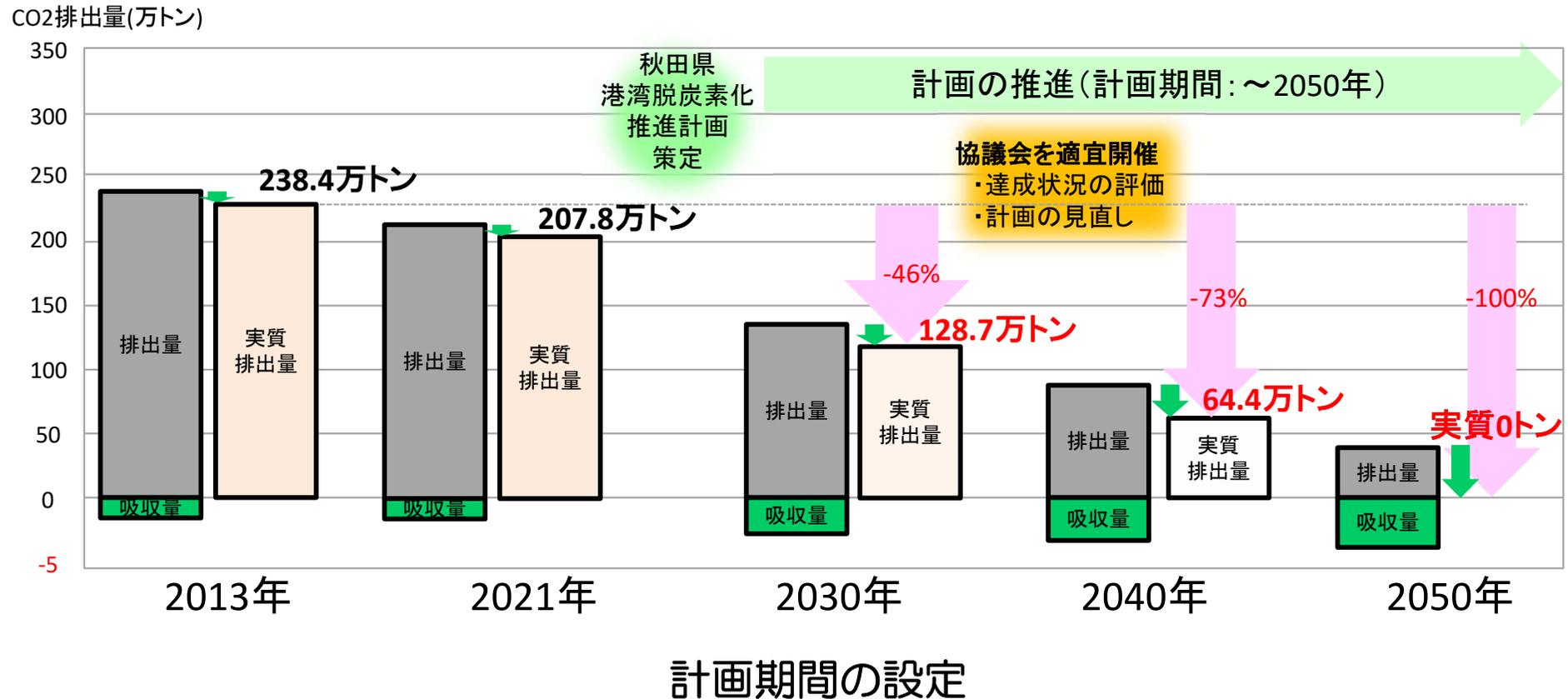


4.計画期間

〈 本計画の期間について 〉

【計画期間】

- 脱炭素化推進計画の計画期間として、マニュアル（P51）より、目標の実現に必要な期間として、計画期間は2050年までとする。



6. 港湾脱炭素化推進計画(素案)

＜ 港湾脱炭素化推進計画（素案） ＞

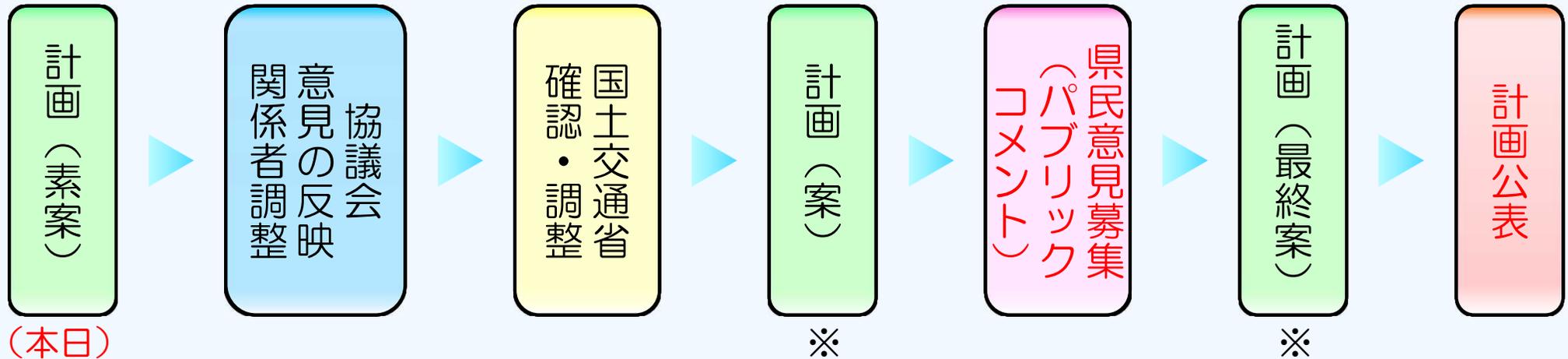
ここまでの内容を取りまとめ、秋田県港湾脱炭素化推進計画（素案）を作成した。

本協議会のここまでのスケジュール

| | R4d 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | R5d 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|--------------------------|------------------------------------|--------|----|----|-------------------------|--------|---------------|----|----|----|----|-----|-----------------------|-----|----|----|-----------------------|
| 協議会 | CNP協議会 第1回 (10/19) | | 港湾法の改正 | | | 新 マニュアル 公表 | | 第1回 (5/23) | | | | | | 第2回 (11/6) | | | | 第3回 (3/11) |
| 各港部会 | | 第1回 秋田港,船川港(11/21) 能代港(12/2) | | | | 第2回 (3/17) 3港同時開催 | | | | | | | | 第3回 (11/6) 同時開催 | | | | 第4回 (3/11) 同時開催 |

今後のスケジュール

計画公表までの流れ



※計画(案・最終案)については、協議会員による内容確認を実施予定